札幌市立星置中学校　学校だより

星はいつも

第２９１号　２０２６．１１．１７

合唱交流会を終えて

札幌市立星置中学校　音楽科

今年の合唱交流会で歌われた「ほらね、」「ヒカリ」「信じる」を作曲された松下耕さんが、とある合唱曲の解説文に寄稿した言葉を紹介します。

「平和は、人と人との信頼の基に築かれることを実感する。我々合唱人は、『うた』を武器に、真の平和を勝ち取ろうとするのだ。私は、合唱を愛するすべての人々とともに叫びたい…

うたおう、命の限り。うたおう、愛する人々のために。うたおう、地球のために。うたおう、祈りとともに。…と」

歌うことや聴くことで幸せホルモンが出たり、自律神経が整ったりと音楽療法でも歌は用いられます。また、歌の力で被災された人々が恐怖心を和らげたり、明日への活力を見いだしたりすることもあります。

皆さんは合唱での活動を通して、隣にいる仲間を気に掛けたり、パートの仲間やクラスの仲間と気持ちを通わせたりしたと思います。さらに、周りの人がしっかり声を出せるような穏やかな雰囲気や集中した空気感を作ったと思います。自分を表現する力と周りを気遣い感じ取る力を発揮したことで、皆さんは自然とより良い集団を作っていきました。合唱での取り組みが終わったこれからも、この温かな空気が星置中にあり続け、最後は卒業式の合唱に繋げてほしいと願っています。

『最近の校内の取組や様子から』

生徒指導部

この時期、この季節に私が学校だよりの中で本校生徒の生活の様子を掲載させていただいて３年目になります。秋から冬に移り変わる外の風景は毎年大きく様変わりはしませんが、生徒たちの様子や雰囲気はその年ごとに違います。

今年度の星置中学校は校内においての大きなトラブル等は多くはありません。これは例年とあまり変わりなく、おおよそ落ち着いた学校生活を送れている生徒がほとんどです。もちろん、中学生同士ですから、お互いの考えや意見の違いから衝突することはあります。そんな時は自分の非を認め、素直に謝るという経験をしながら、日々成長していくことが大切だと感じます。

今年度、今までと大きく違ったのが「学校近隣の商業施設をはじめとした地域での過ごし方」です。残念ながら、店内での過ごし方、公園での遊び方について、地域の方から学校に良くない情報提供が入ることが少なくありませんでした。結果、生徒の放課後や休日の過ごし方に対して、利用を控えるような呼びかけをしなければならない状況となってしまいました。現在は以前のような目に余る過ごし方は無いようですが、引き続き「地域の一員」としての自覚をもって行動してほしいと思います。

これから冬本番となります。体調管理にも気をつけながら、自身の言動にも注意を払った生活を意識してほしいと思います。

１２月の行事予定

１日（火）　１、２年教育相談⑥
　　３年進路相談⑥
２日（水）　全校協議会
　　７組発寒イオン即売会
３日（木）　２年体育大会
４日（金）　１年体育大会
　　３年到達度テスト範囲配布
８日（火）　７組高等支援学校見学
９日（水）　常任委員会・学年協議会
１０日（木）　期末懇談①
１１日（金）　期末懇談②
　　７組スケート学習②



１４日（月）　期末懇談③
１５日（火）　期末懇談④
　　１学年集会（４校時）
　　３年諸活動停止（～17 日）
１６日（水）　期末懇談⑤
１７日（木）　期末懇談⑥（２学年のみ）
　　１年完全下校
１８日（金）　３年第３回到達度測定テスト
２１日（月）　外局会
２２日（火）　強化清掃①
２３日（水）　強化清掃②
　　３年得点通知表配付
２５日（金）　２学期終業式
　　冬季休業（～１月１４日）
２９日（火）～１月５日（火）
　　学校閉鎖、冬季休業日